

Netskope Security Cloud

クラウドの世界をもっと安心、安全に ~クラウド・アクセス・セキュリティ・ブローカー(CASB)~



クラウドアプリケーションを 安心・安全に使用するためのセキュリティ対策

リスク
Risk
さらされている

**90%以上のクラウドアプリは
管理されていない**

企業は平均で1181個※1のクラウド
サービスを使用しておりそのうち
92.7※1%は企業向けでない。

※1(参考:Netskope cloud Report 2018年2月時点)



セキュリティ課題をもたらすクラウド利用

クラウドに分散保存される データの統制が課題に

既に多くの企業でクラウド利用が始まっており、便利になった環境では、機密情報の保管や私有機器利用などのポリシー遵守が課題です。さらに許可外の不特定多数アプリケーションにおいては、セキュリティ対象にすらなっていない状態です。



クラウドビジネスの成長



様々なクラウドアプリが登場



課題を解決できるのはCASB

不特定多数のクラウドアプリ利用に対するセキュリティ対策は、ファイアウォールなど既存の技術では不十分です。クラウドアプリを識別して操作内容まで可視化してくれる把握から、各種脅威に対する「保護」そして「対処」まで、クラウドセキュリティの要求に応えるのがCASBです。



CASBとは

CASBは異種クラウドサービスを利用するユーザーや端末に一貫したポリシーと統制を提供するサービスで、利用内容に関する詳細な可視化とコントロールを可能にします。CASBは4種類の機能で構成されます。

<CASBの4機能>

- ・検出と可視化
- ・コンプライアンス
- ・データセキュリティ
- ・脅威に対する防御

“Netskope”のCASBが選ばれる理由

1 不特定多数アプリ対応

無許可を含めた全クラウドアプリに、詳細な操作ポリシーを適用できます。



2 オールモード・アーキテクチャー

モバイル端末を含む多様な利用形態に対応する柔軟な導入オプションを提供しています。



3 情報漏えい対策 (DLP)

誤検知を抑える近接分析やフィンガープリンティングなど高度な情報漏えい防止機能をクラウドITにも提供します。



4 脅威防御

クラウドアプリ内におけるマルウェアやランサムウェアの検知と対処機能を提供します。



“Netskope”はすべてを把握・保護・対処

LANだけでなくリモートやモバイルからの利用も含めたすべてのクラウド利用に関して、クラウドスケールのセキュリティプラットフォームを提供します。

- ・利用中サービスと操作を自動検出して可視化
- ・シャドウITも一目瞭然
- ・自動分類とリスク分析による採点
- ・挙動と操作内容の判別と記録

- ・詳細なポリシー定義と適用
- ・告知、遮断、推奨サービス転送などのアクション
- ・情報漏えい対策 (DLP = Data Loss Prevention)
- ・マルウェア検出
- ・暗号化

- ・ワークフローの自動化
- ・フォレンジックに必要な詳細な監査証跡
- ・詳細なインシデント履歴
- ・豊富な管理者種別とカスタム定義の役割ベース権限管理



把握

Understand

不特定多数のクラウドアプリ、操作、データを把握します。



保護

Protect

機密情報を保護してネットからの脅威を遮断します。



対処

Respond

インシデントへの迅速かつ手厚い対応を実現します。

LANでもモバイルでも



すべてのデバイス

netskope

許可および無許可



SaaS | IaaS | PaaS

不特定多数のクラウドアプリ

従来ソリューションとの違い

今までもウェブアプリケーションを遮断するようなセキュリティソリューションは存在していました。しかし、クラウドに特化したNetskopeは、クラウドアプリそれぞれのリスク情報を把握しており、さらにユーザー操作種別やデータ内容まで判別したうえで詳細にコントロールできます。



適用例(課題とソリューション)

ユースケース

1 クラウド利用状況とリスクを 見える化したい

課題

- 何がどのように使われているのか把握できていない
- 部署やユーザーごとに勝手なアプリを使いだして企業向けの品質でないものも多い
- 類似アプリの利用による無駄なコストがかかっている

ソリューション

- クラウドアプリ、ユーザー、挙動の詳細情報を自動ディスカバリー
- 類似アプリの発見と集約によるコスト最適化
- クラウドアプリのリスク評価指標を提供



ユースケース

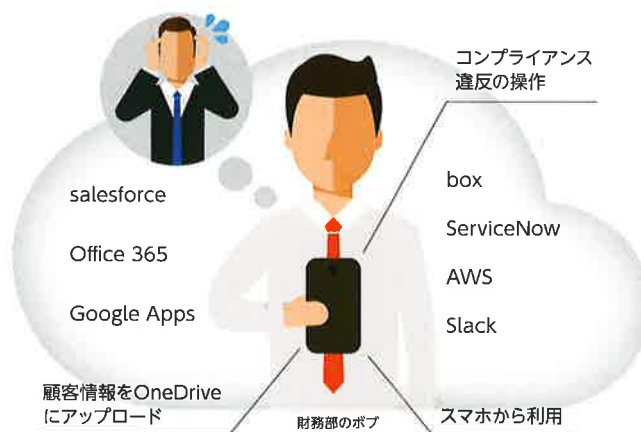
2 アプリ限定で安全に クラウドを利用したい

課題

- 許可アプリへの問題操作を可視化できていない
- ユーザーや管理者の権限制御ができていない
- 機密情報漏えいの恐れがある

ソリューション

- アクセス、挙動、データに対するポリシー適用
- 詳細な可視化とコントロール
- データとアプリへの通信を監視して保護



ユースケース

3 想定外のクラウド利用にも セキュリティ対策したい

課題

- シャドウITの利用状況とリスクが把握できていない
- アプリ連携によってシャドウITが許可アプリに接続されてしまう
- コンプライアンス違反操作と情報漏えいのリスクがある

ソリューション

- シャドウITを含む全アプリのディスカバリー
- モバイルアプリを含む全クラウドアプリの可視化とコントロール
- 機密情報漏えいを防止する強力な最先端DLP機能



※会社名及び商品名は、それぞれ会社の商標あるいは登録商標です。



東京エレクトロン デバイス株式会社

CN BU
<https://cn.teldevice.co.jp>

新宿: 〒163-1034 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー S34階
Tel.03-5908-1964 Fax.03-5908-1992

大阪: 〒540-6033 大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー 33階
Tel.06-4792-1908 Fax.06-6945-8581

名古屋: 〒451-0045 愛知県名古屋市中区名駅2-27-8 名古屋プライムセントラルタワー 8階
Tel.052-562-0826 Fax.052-561-5382

つくば: 〒305-0033 茨城県つくば市東新井15-4 関友つくばビル 7階
Tel.029-848-6030 Fax.029-848-6035

お問い合わせは、Webサイトの下記フォームよりお願いします。
<https://cn.teldevice.co.jp/product/netskope/form.html>